

あだたら

八月二十一日(日)

笠山下登山道整備、二回目

報告 事務局

第407号
 発行所 久田町会
 山部 山部
 編集 山部



16時44分、無事奥岳に下山した参加者

八月二十一日(日)、安達大良山笠山下登山道で整備作業を実施した。このコースは「勢至平」から「くろがね小屋」を経由しないで、「峰の辻」に出る事ができ、山頂への近道として、利用者は多い。

七月二十四日、二十六日に二箇所階段作りを実施したが二箇所目は未完成。次の作業日は未定の儘だった。

八月三日から県内では大雨、各地に被害が出た。今回の作業が、大雨以来、初

●編集部連絡先
 二本松市郡内1-5-15
 0243(22) 4245
 Fax可 渡辺 正

めでの入山となった。奥岳「鳥川遊歩道」は橋が落下して、立入禁止となっている。勢至平へは「近道」に登り、「滝見台」で薬師岳方面を確認、奥岳スキー場に二つ三箇所赤土露出した崩落場所を見付けた。近道には通過不可能なほどの破壊場所は無い。

笠山下の作ったばかりの階段、二箇所とも、階段は設置したままの姿保っており、残材もブルーシートにぐるまれたまま、登山者通過の邪魔にならないままで、残っていた。三個所目に運んで置いた材料も流さずに残っていた。その上のハンノキ林出口までの登山道に崩落は無い。三日の雨、勢至平から上では、それ程酷くは無かったのかも知れない。

今回は、火山灰質で「扶れ」の酷い箇所、二箇所、道の脇に生えている笹・灌木の除去を実施、道幅を広げて通過しやすくした。日曜日でもあり、登山者は多く、先月の階段設置、今回の道幅拡張で、通過しやすくなった事に驚き、感謝の言葉述べていた。会員他含め六名が参加した。



2箇所目の登山道拡幅場所



1箇所目の登山道拡幅場所



勢至平登山道の
ツリガネニンジン



スキー場上部の崩落場所



五葉松平登山道崩落の注意看板



遊歩道入口には立入禁止

九月四日(日)

僧悟台登山道整備、の予定が、

湯川溪谷登山道確認

トレイルラン当日

報告 編集部



16時8分、塩沢登山口に無事下山、貰った御菓子持って

本来この日は僧悟台登山道整備の予定だったが先月三日の大雨で、途中の「馬返し橋」が流出し、僧悟台へ登れない状態だった。そこで湯川溪谷全体の状況確認を行なう事とした。「馬返し橋」は橋そのものは再利用可能で、架橋場所の河岸も大雨で川幅が狭まって、作業に使えるような流木もあり、橋を戻すのが容易

と判断し、戻し架橋作業を実施した。□□□□さんの指導の下、流木で仮橋を作り、重い橋材を滑らせて架橋し、無事に馬返し橋を架け直した。当日は安達太良連峰で開催されたトレイルランの二日目。僧悟台から降りて来た参加者が架け戻された橋を利用して登る事となった。当日朝、塩沢スキーの湯川溪谷登山口に設けられ

ていた「トレイルラン、第二関門」に、「登山道調査するから」と連絡して置いたので、作業中に関係者が現場訪れ、作業を見て驚いていた。作業は四十分程度で完了、九時十五分からは、湯川溪谷登山道の状況確認を開始した。徒渉用の橋は六つの橋全部が流出していたが、登山道に崩落箇所は無く、屏風岩向かいの棧橋も利用できる。また、橋のない渡渉箇所だが、四日には、水量少ない事もあったが、登山靴でも容易に川を渡る事(飛び石渡り)ができた。

くろがね小屋で昼食後、下山に入ると、トレランで昇ってくる人、どんどん増えてきた、その人達には拍手と「フアイト」の掛け声を掛ける、登山口まで続いた。下山の途中、暗くなってきた、屏風岩の下樹林帯では、ほぼ夕暮れを感じ、トレイルランの参加者もヘッドランプ点灯して上がって来る人もいた。馬返しの少し上では、「最後尾だ」というスタンプにも会った。登山口には第二関門のテントまだ残っていた。馬返し橋の様子見に来て驚いていたスタンプもいた。それらの方から御菓子数袋頂いた、小さなドーナツとおせんべいだ、最後に写真撮影した後、みんなで分けた。

登山道には、モミジハゲマ、オヤマリンドウ、ツル



トレイルラン関係者渡り初め



仮橋の上滑らせて、架橋した



11時45分、荒竜岩下橋跡の渡渉



14時26分、天狗岩下橋跡、渡渉

リンドウ等、秋の草が開花して楽しむ事ができた。会員他含め七名が参加した。

臨時作業・五葉松平下

報告 編集部

九月七日(水)



五葉松平下崩落場所 (10月1日、ロープウェイから)

九月六日(火) 役員会、参加者は四名だけ、八月三日の大雨で、五葉松平登山道、一番上のリフトの終点の上、倒木があり、通過困難になっていた、と言う話を富士急の口口支配人から聞いていた(会報四〇六号)。役員会でその話ししたら、口口さんが「じゃ倒木切ろう、明日はどうか」と言う話になった。参加者は役員会にいた四人だ。翌七日(水)、奥岳八時半、口口さん準備の「伐採」の工具手分けして背負った。

鳥川橋手前の峠迄は、八月二十一日にも来ている。そこから五葉松平への道は大雨の後初めてだ。元の薬師岳リフト切符売り場の上、沢を渡るが、その沢、川岸が崩れ幅が広くなり、大きな石が露出している、荒れた感じだ。その上リフト終点駅脇の辺りから、黄色の「要注意テープ」が現れ、やがて登山道に、切断痕のある倒木が被さって来、階段にも笹が土砂每流されてきた。ここが土砂崩れ現場だ。登山道の急な階段のて



12時56分、奥岳に下山

っぺんでは、登山道は右に曲がってスキー場の上に出る。その右折部分に、向かって左手から土砂崩れが襲ってきたのだ。階段の最上段千石ほどは、崩れてきた土砂に埋められて、一枚の急傾斜面になってしまった。大部分の倒木は、邪魔にならない程度には伐採されていた。口口さんは急傾斜面に、簡易の階段設置作業始めた。口口は掴んで登れる確保ロープ張りやっ



崩落場所 (上の二人の間が登山道入口)



左の階段は元の道、土砂被ったので、右に臨時の仮階段設置

た。但し、確保ロープ地面の上這った形なので、泥だらけになってしまっていて、使われて居るかどうかは判らない。口口さん口口さんは、道に被さって

る笹や灌木の刈払いやっただけで、一応の目的果たしたので、作業終わって、十二時五十六分には奥岳登山口に下山した。

この日は、臨時の登山道整備で、湯川溪谷天狗の庭橋架橋工事、または笹山下登山道整備、の予定だった。天狗庭橋材料の荷揚げが間に合わず、笹山下登山道の階段仕上げの作業となった。集合時間の八時には、奥岳では深い霧、薄暗く、視界も利かない。三台の背負子で、材料工具を手分けして運んだので、楽な登りの馬車道を登った。

七月二十四日には一回目

深かったが、熱至平では快晴に恵まれ、見事な雲海が

臨時作業・笹山下整備作業

報告 編集部

九月十五日(木)

この日は、臨時の登山道整備で、湯川溪谷天狗の庭橋架橋工事、または笹山下登山道整備、の予定だった。天狗庭橋材料の荷揚げが間に合わず、笹山下登山道の階段仕上げの作業となった。集合時間の八時には、奥岳では深い霧、薄暗く、視界も利かない。三台の背負子で、材料工具を手分けして運んだので、楽な登りの馬車道を登った。

この日は、臨時の登山道整備で、湯川溪谷天狗の庭橋架橋工事、または笹山下登山道整備、の予定だった。天狗庭橋材料の荷揚げが間に合わず、笹山下登山道の階段仕上げの作業となった。集合時間の八時には、奥岳では深い霧、薄暗く、視界も利かない。三台の背負子で、材料工具を手分けして運んだので、楽な登りの馬車道を登った。



9月15日、17時4分、奥岳に下山

眺められた。登山道には、オヤマリンドウ・エゾリンドウ・アキノキリンソウが咲き乱れ、オナカマドは真っ赤な実を付けていた。ハクサンシャクナゲも、大きな花芽を沢山付けていて、今年の花芽とは違っていて一杯花を付ける事が期待される。

温泉会社資材置場まで運ぶ事が出来た。口口さんからのメールで、二十六日(月)に温泉会社の口口さんが小屋下の巡回場まで、運んでくれたという。橋の設置、早い内に実施しましょう。(写真は次号で)

平を結ぶ近道のこの登山道、利用客は多く、山の会員が整備しているのに驚き、感謝していた。会員八名が参加した。また、天狗の庭橋の材料上げが、中々行えなかったが、九月二十四日に前会長・口口さんのご協力と梯子と鉄パイプは奥岳の

◆九月は登山道整備済山、それでも皆さんにご参加頂きました。有り難う御座いました。今後よろしくお願ひします。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記 四〇七号